

【国際交流】フィンランド ヤムク大学学生が本学を訪れました

平成 29 年 2 月 27 日から 3 月 8 日の 10 日間、フィンランド ヤムク大学より看護、理学療法、作業療法を専攻する学生 12 名が本学を訪れました。昨年夏には本学学生 16 名がヤムク大学を訪れ現地の教員や学生に大変お世話になりましたが、今回は受入側として大学内外での講義、ディスカッション、病院や福祉施設の訪問、文化体験を通して交流しました。日本の医療・福祉事情に関する講義や日本の高齢化の現状と課題についての講義では、フィンランドと日本の医療制度の違いなど活発な発言や質問があり予定時間をオーバーするほどでした。福祉国家であるフィンランドが現在抱える高齢化問題や看護・介護士不足の問題は我々と共通する部分でもあり、看護・介護の質を高めながら問題にどう向き合うか、また福祉ロボットなど最新の科学技術をどのように取り入れるかなど議論は尽きません。両国の学生、教員が互いに学び合い、それぞれの国の医療を多角的に考える充実した時間となりました。

また、本学の学生と国際交流センターでは訪問学生がジャパニーズライフを楽しく体験できるように、学生宅でのホームステイや、華道、回転寿司、お好み焼きといった日本の文化や食事を試した他、週末には伊香保温泉やイチゴ狩りなど、学術面以外でも学生間の友情を深めることのできる楽しいプログラムを企画しました。「フィンランドのサウナもいいけれど、日本の温泉も最高だ！」と訪問学生も満足してくれた様子です。今年の夏フィンランドで再会することを約束し、帰国の途につきました。

プログラム実施にあたり、ご協力頂いた関係者の方々に感謝いたします。

* 本研修は日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定受入)に採択され、奨学金を得て実施されました。



大学での集合写真



コミュニケーションロボットを利用した講義と演習



群馬リハビリテーション病院にて



華道体験



和太鼓サークル“舞”のメンバーと



伊香保温泉にて